

今回5人が質問し、
その要約を掲載しました。

桐原健一 議員 …………… 6P

- ・ エリアメールの導入について
- ・ 放射線量測定器の無料貸し出しについて
- ・ 高齢者への肺炎球菌ワクチンの助成について
- ・ 舟渡団地跡地について

三村由利子 議員 …………… 7P

- ・ おいしいお米・日本一の今後の取組みは
- ・ 災害に備えて

河原井大介 議員 …………… 8P

- ・ 地域防災計画について
- ・ 福島県の子供たちとの交流事業について
- ・ 農産物ブランド化推進について
- ・ 職員のメンタルヘルス対策について

阿久津則男 議員 …………… 9P

- ・ ホールの湯について
- ・ 学校給食について
- ・ 小学校の運動会について

菌部 一 議員 …………… 10P

- ・ 高齢者福祉計画と介護保険事業の現状について
- ・ 鳥獣被害防止について

一般質問

町政を問う

緊急速報エリアメールを 導入できないか。

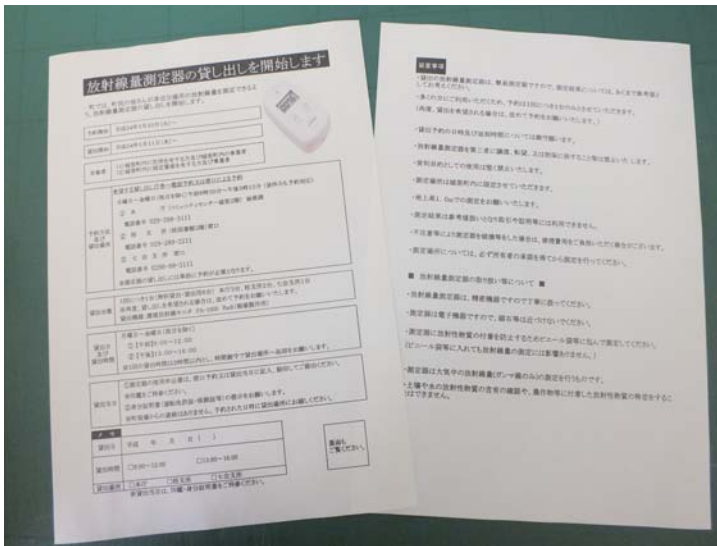
〈町長〉 前向きに検討していく。



桐原 健一 議員

桐原 地震発生など、災害時の緊急速報を携帯電話に知らせるNTTドコモのエリアメールを導入できないか。

町長 災害時における防災無線など音声での伝達は、気象条件に左右され、放



貸し出し開始の広報

放射線量測定器を 無料貸し出しできないか。

送内容が聞き取れないことが予想されるので、前向きに検討していく。

〈町長〉 貸し出しし、不安の解消を図っていく。

桐原 自ら放射線量を測ることで、不安解消に役立つ、町として測定器の無料貸し出しはできないか。

町長 放射線量測定器の貸し出しにより、町民の皆様方が身近な生活環境の線量を自ら測定することで、不安の軽減を図っていききたい。

高齢者への肺炎球菌ワクチン接種の助成の考えは。

桐原 ワクチン接種は保険適用がなく、費用は1万1千円位と高額な為、公費助成できないか。

町長 現況においては、インフルエンザの予防接種の徹底

桐原 今後の計画はどのようになっていくのか。

今後行政財産から普通財産への変更もあわせ、検討していく。

舟渡団地跡地の 今後の計画は。

町長 活用について協議・検討しているところであり、

おいしいお米日本一の産地の今後の取組みは。

〈町長〉茨城中央農業協同組合とブランド化に向けて協議。



みむら 三村 ゆりこ 由利子 議員



日本一になったななかの里コシヒカリ

三村 おいしいお米コンテストで日本一の快挙を成し遂げたことにより、今後の対応は。

町長 全国に名前を売る機会であり、今後ブランド化に向けて、茨城中央農業協同組合と協議を進めていく。

三村 受賞者や生産部会に対し、祝意をどう表すのか。

町長 販路拡大、ネーミングの商標登録、看板パネル作成等の助成を考えている。

被災地へ職員を派遣し、研修させているのか。

〈町長〉町としては行っていないが、これから考えていく。

三村 震災後の町民に対するアンケート調査をしているのか。

町長 意見を聞き進められれば進めていきたい。

三村 震災後の町民に対するアンケート調査をしているのか。

町長 意見聞き進められれば進めていきたい。

など研修させているのか。

町長 町としては、現地視察は行っていない。

町長 町内ではないが、国県のアシケート研究していく。

三村 原発事故対策で、広域の防災応援協定先を模索しておくべきではないか。

三村 今からでも遅くないから実施する考えは。

三村 自主防災組織の結成進捗状況は。

町長 友好都市・姉妹都市など他町村との連携をしながら

町長 できれば私も行ってみたい。それは良いことなので、これから考えていく。

町長 地域防災の強化を図るためにも組織化の推進をしていく。

広域的な避難対策を検討していく。

三村 断水に備え給水タンクの製造設

三村 被災現地へ職員を派遣して現地の状況や対応の状況

消防用具問題について どのように対応したのか。

〈町長〉 今後更新の時期について十分留意しながら行う。



かわらい だいすけ 河原井 大介 議員



消防団に配布しているヘルメット

日
から
募
を
1月
16
コ
メン
ト
ブ
リッ
ク
計
画
の
パ
地
域
防
災
計
画
の
パ
コ
メ
ン
ト
を
1月
16

【河原井】 災害時の情報発信手段について、6月・9月議会定例会からの関連質疑があった上で、どのような結論が出たのか。
【町長】 消防無線が平成28年からデジタル化に移行する。これに合わせて防災無線を整備していく。
【河原井】 災害時の地域医療拠点をどのように考えているのか。

又、地域医療機関との連携を目的とする会議等は行ったのか。
【町長】 本町には、医師会等による組織がない為、話し合う機会がもてない。機会があれば話し合いの場を設けたい。
【河原井】 前回、震災時の町の様子を明確に認識し、防災計画を見直すために住民アンケートを実施すべきだと提案したがどのよう
【町長】 災害時の地域医療拠点をどのように考えているのか。

【町長】 本町には、医師会等による組織がない為、話し合う機会がもてない。機会があれば話し合いの場を設けたい。
【河原井】 前回、震災時の町の様子を明確に認識し、防災計画を見直すために住民アンケートを実施すべきだと提案したがどのよう
【町長】 災害時の地域医療拠点をどのように考えているのか。

集する（アンケート調査はしないが）これを利用し災害時のものとして検討していく。
【河原井】 消防用具問題についてどのような対応したのか。（消防団ヘルメット耐久年数の件について10年以上経過。）
※FRP素材の耐久年数は5年
【町長】 身体防御を目的とした装備品である為、今後更新の時期について十分留意しながら行う。
【河原井】 防災力向上の為に防災訓練等を定期的に実施すべきと考えるが。
【町長】 今後は必要に応じて、組織や地域に効果的な訓練を行っていききたい。

福島県の子供達との交流事業について

【河原井】 福島第一原発事故後、避難生活をしている子供達に城里町として、何等かの支援ができないのか。
【町長】 大変良いことかと思う。民間団体が実施する中で町として協力していくことが最善の方法であると思う。

役場職員のメンタルヘルス（心の健康）について

【河原井】 役場職員のメンタルヘルス（心の健康）についての対策は。
【町長】 メンタルヘルス対策は、喫緊の課題である。2年前から職員を対象としたメンタルヘルス対策の研修を実施している。しっかりとやっていく。

【河原井】 具体的な町のブランド化推進協議会の活動内容は。
【産業振興課長】 推奨品の認定制度や審査

農産物ブランドの推進について

【河原井】 具体的な町のブランド化推進協議会の活動内容は。
【産業振興課長】 推奨品の認定制度や審査

ホロルの湯の震災後の利用状況と現況は。

〈産業振興課長〉 昨年同時期より利用者・売り上げとも増加している。



あくつ のりお 議員
阿久津 則男



キャラクターのホロル君

阿久津 震災後の利用状況と現況は。 **産業振興課長** 県内の観光は、3〜4割の減を見ているが、ホロルの湯は風評被害、放射能影響もななく年間23万人以上を見込んでいる。

阿久津 年間の宣伝活動は。

町長 ホームページ、温泉雑誌への掲載、湯めぐりスタンプラリー協賛、町内外のイベントに参加しPR。ホロルの湯の優待券の配布等で誘客を図っている。

阿久津 無料送迎バスの利用状況と今後の継続は。

町長 近隣市町村の方々の利用を含め昨年より増加。今後も運行を続けていく。

阿久津 リピーターの方々に、なぜホロルの湯を再利用するのか、アンケートで調べる事ができないか。

産業振興課長 開発公社に指導していく。

学校給食の完全復旧はいつになるのか。

〈教育長〉 完全復旧は平成24年4月から。

阿久津 震災後の学校給食の内容は。 **教育長** 常北給食センターが使用できず、桂と七会の給食センターで主食にパン、米飯、めん、そして牛乳、デザートと震災前と変わらないが、おかずは、二品から一品に減らしカロリーベースで約80%の給食を続けている。

阿久津 一年間80%のカロリーを続けて健康面に問題はないか。

教育長 十分でない

阿久津 考えている。中学生の父兄には、おにぎり一個程度、持参しても良いと伝えられている。

阿久津 給食費は安くしているのか。

教育長 給食費も8掛けにしている。幼稚園2,800円、小学生3,200円、中学生3,600円を徴収している。

阿久津 完全復旧はいつか。

教育長 平成24年度からになる。

阿久津 使用している

教育長 受水槽と排水槽が壊れているので、清掃ができない。

阿久津 一年間使用していない常北給食センターを再開する場合、保健所の検査は必要なのか。又、清掃は町職員がするのか、専門業者がするのか。

教育長 保健所の検査は対象にならない。清掃は専門業者に委託し消毒する。

阿久津 9月実施の運動会は熱中症等の問題があるが、PTAから対策要望等は出ていないか。

教育長 石塚小学校のPTAから具申があり、校長会の中で協議している。



工事中の常北給食センター

安い料金で入所できる特別養護老人ホーム等の計画はないのか。

〈町長〉 3年後の計画見直しで状況の変化により施設設置を考慮したい。



そのべはじめ 議員 園部 一

園部 我が国の平均

均寿命は食料事情の

改善・医療・医学の

進歩により男性は80

歳、女性は、86歳と

長寿国家である。

本年で高齢者福祉

計画及び第四期介護

保険事業が終わるが

進捗状況と成果は。

次期計画、第五期計

画の中に安い料金で

入所できる特別養護

老人ホーム等の計画

はないのか。

町長 地域包括支

援センターを中心に

要介護にならない様

各種事業を展開して

いる。第五期計画は

団塊の世代が高齢期

を迎える平成27年を

見据え安心して暮ら

せる長寿社会を目指

している。

次期計画には、特

別養護老人ホームの

計画は、無い。

保険課長 介護の世

話にならない予防に

重点を置き、町内39

のサロン等で成果は

あった。

園部 本町内の特

別養護老人ホーム等

には現在87名が入所

し他の市町村に95名

がお世話になってい

る。

逆に他からは10

9名が来ている。他

の市町村に入所され

ている本人、ご家族

の思いは本町内に十

分な施設を必要とし

ている。高齢化率26

%の現在、高齢者福

祉・介護の趣旨から

特別養護老人ホーム

を計画に明記しては

町長 3年後の計

画見直しで状況の変

化により施設設置を

考慮したい。

園部 本年廃校と

なった5校を利用し

て介護施設の導入は

どうか。

町長 2件ほどお

話しはあるが、現時

点では発表できない。

園部 福島県の原

発等の被害により本

町でお茶の被害を受

け、県内で捕獲され

たイノシシの肉から

放射線が検出され、

肉の販売ができない。

猟師の方も猟への意

欲が薄れている。今

回50万円の補助金が

出たが、さらに猟友

会の助けになるよう

に国の鳥獣防止対策

の補助金を利用して

はどうか。

町長 県内のイノ

シシの肉から放射性

物資の検出は狩猟機

運を弱めた、被害を

懸念し50万円の補助

金を出した。

産業振興課長 常陸

大宮市、笠間市で利

用している。本町で

も利用して、有害駆

除隊の要望に応えた

い。

国の鳥獣防止対策の補助金を利用しては。

〈町長〉被害を懸念し補助金を交付。

